

カラー図解 神経解剖学講義ノート
正誤表

第1版第1刷～第10刷

このたびはご購入いただきまして誠に有難うございます。本書に誤りがございましたので、深くお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

2019年2月7日

訂正箇所		誤	正
45 頁	図3-11 図中ネーム 左側の下	前角運動ニューロン群 (X)	前角運動ニューロン群 (IX)
181 頁	図13-2 図中ネーム	脊椎硬膜の内葉 (狭義の 脊髄硬膜)	脊髄硬膜の内葉 (狭義の 脊髄硬膜)

第1版第1刷～第9刷

このたびはご購入いただきまして誠に有難うございます。本書に誤りがございましたので、深くお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

2018年9月6日

訂正箇所		誤	正
143 頁	Memo 10-6 本文	13～17行目「右利きの人の～右脳にあるわけではない」	右利きの人97%は左脳に言語野があり、右脳にあるのは5%である。一方、左利きの場合、61%が左脳に言語野があり、19%が右脳に、残りの20%が左右両方に言語野がある。したがって右利きの人々の言語野は左脳にあるとあっては正しいが、左利きの人々の言語野が右脳にあるわけではなく、むしろ右利き同様に左脳に言語野がある確率が高い。
207	左段最終行 2) 脳	脳回で舌状回ともいう	脳回である

頁	回④ 外側後頭側 頭回 lateral occipitotemporal gyrus の本文	
---	---	--

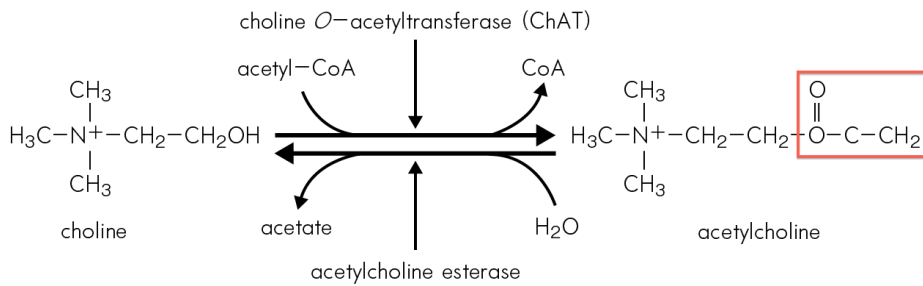
第1版第1刷～第8刷

このたびはご購入いただきまして誠に有難うございます。本書に誤りがございましたので、深くお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

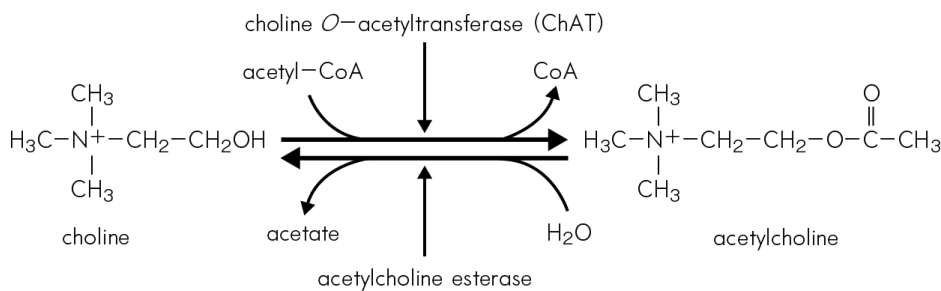
2016年10月13日

194頁 図15-1

誤：赤枠部分が訂正箇所



正：



第1版第1刷～第7刷

	訂正箇所	誤	正
53 頁	図4-1 図中ネーム △ 右側の1行目	前有孔質	後有孔質
176 頁	F 味覚の伝導路の 見出しの英語表記	gustatory pahway	gustatory pathway

第1版第1刷

このたびはご購入いただきまして誠に有難うございます。本書に誤りがございましたので、深くお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

2012年4月5日

第1版第2刷（2012年5月1日発行）では、すべて修正済みです。

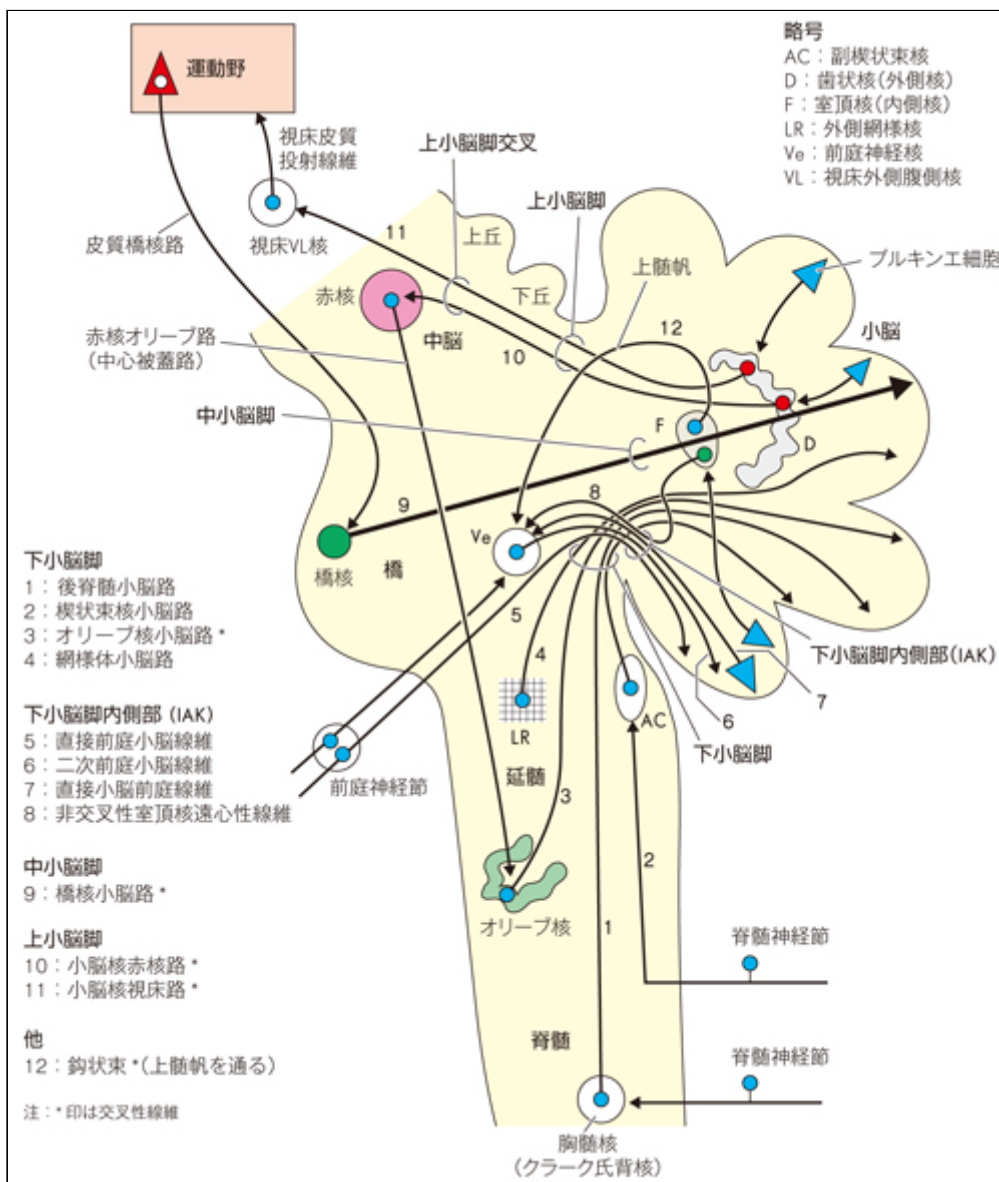
訂正箇所		誤	正
ii頁	右段 9行目	脳の水平断面と前断断面,	脳の水平断面と前額断面,
4頁	右段 5行目	網膜のアマクリン細胞	左の記載を削除
	右段 8行目	嗅細胞や	左の記載を削除
32頁	右段 2行目	マウスの	ラットの
34頁	左段 下から6行目	neurotrophin 4	neurotrophin 4/5
44頁	左段 Memo 3-2 の前4行目	Clark	Clarke
53頁	図4-1 図中ネーム △ 右側の1行目	前有孔質	後有孔質 8刷で訂正
54頁	右段 Memo 4-2 の前7行目	内弓状線維internal arcuate fibersとい い,	左の記載を削除
66頁	図4-26	舌咽・迷走神経下の神 経節	舌咽・迷走神経の下神 経節
	図4-27	舌咽・迷走神経下の神 経節	舌咽・迷走神経の下神 経節
69頁	図5-3	中心被蓋路（オリーブ 赤核路）	中心被蓋路（赤核オリ ーブ路）
71頁	図5-9の表	左動眼神経の障害（右 眼の内転不能,	左動眼神経の障害（左 眼の内転不能,
75頁	左段 下から1行目	顎下線の	顎下腺と舌下腺の
78	左段 5行目	fibers	fasciculus

頁			
86 頁	左段 6行目	pupillary	pupillary
98 頁	左段 3行目	fastigeal	fastigial
100 頁	左段 22行目	Clark	Clarke
103 頁	図7-18の説明 6 行目	mf : 内側網帯	ml : 内側毛帯
	左段 4行目	fastigeal	fastigial
	右段 下から8行目	前庭小脳線維	小脳前庭線維
105 頁	図7-21		別掲
119 頁	左段 下から9行目	Papetz's circuit	Papez circuit
141 頁	右段 5行目	連合分野は	連合野は
144 頁	右段 下から4行目	②外側嗅条 lateral olfactory stira	②外側・内側嗅条 lateral and medial olfactory striae
146 頁	図10-17の説明	(Lewis JFT: Comp Neurol	(Lewis JFT: J Comp Neurol
156 頁	右段 6行目	表情筋支配を支配する	表情筋を支配する
176 頁	F 味覚の伝導路の 見出しの英語表記	gustatory pahway	gustatory pathway 8刷で訂正
180 頁	左段 下から4行目	軟膜をを越えて	軟膜を越えて
187 頁	Memo 14-1の次	2 椎骨動脈 vertebral artery	2 椎骨動脈 vertebral artery
207 頁	左段最終行 2) 脳 回 ④ 外側後頭側 頭回 lateral occipitotemporal gyrus の本文	脳回で舌状回ともいう	脳回である 10刷で訂正

210 頁	右段 下から6行目	1) 上丘 superior colliclus	1) 上丘 superior colliculus
210 頁	右段 下から5行目	2) 下丘 inferior colliclus	2) 下丘 inferior colliculus
211 頁	図16-17 脳弓柱 (出部) の右	第四脳室脈絡叢	第三脳室脈絡叢 別掲
216 頁	右段 1行目	fastigeal	fastigial
	右段 2行目	②球状核 (前中位核 anterior interpositus nucleus)	②球状核 (後中位核 posterior interpositus nucleus)
	右段 4行目	③栓状核 (後中位核 posterior interpositus nucleus)	③栓状核 (前中位核 anterior interpositus nucleus)
	図16-27	G 栓状核 (後中位核) E 球状核 (前中位核)	G 球状核 (後中位核) E 栓状核 (前中位核)
233 頁	左段 1 神経組織学 問10	○	× 解説 前角運動ニューロンの軸索が中枢神経系の内部にとどまる範囲ではオリゴデンドログリアがその髄鞘を形成するが、前根に進入後はシュワン細胞が髄鞘を形成する。
	左段 1 神経組織学 問11	× 解説 前角運動ニューロンの軸索が中枢神経系の内部にとどまる範囲ではオリゴデンドログリアがその髄鞘を形成するが、前根に進入後はシュワン細胞が髄鞘を形成する。	○
235 頁	右段	延髄 ——の弓状核 arcuate nucleus 117	延髄 ——の弓状核 arcuate nucleus 56
237 頁	左段	嗅糸状体 olfacotry	嗅糸状体 olfactory
	左段	クラーク氏核 dorsal	クラーク氏核 dorsal

		nucleus of Clark	nucleus of Clarke
239 頁	左段	室頂核 fastigial nucleus	室頂核 fastigial nucleus
	左段	室頂核遠心性線維 fastigial efferent fibers	室頂核遠心性線維 fastigial efferent fibers
244 頁	左段	パペッツの情動回路 Papetz's circuit	パペッツの情動回路 Papez circuit

105 頁 図7-21 小脳脚の構成



211 頁 図16-17 脳の正中断面

